

★Topics★

地域資源活用型医薬品等開発促進事業の成果事例のご紹介!

三重県では、産学官民が連携し、県内の海洋資源や農林水産物など地域資源を活用した医薬品、化粧品等をめざして、医薬品等に対する補助や医療機関と連携した臨床試験の実施、市場性を勘案した販路開拓などの支援を行っています。その取組により製品化された事例の一部を紹介します。(五十音順)



伊勢くすり本舗株式会社 (伊勢市)

「鈴鹿産芍薬を活用した薬湯の開発」 (商品名：神楽の薬湯)

・自然生薬100%の無添加入浴剤。主成分の医薬部外品原料の一つに鈴鹿で採れた芍薬の根を使用して開発。肩こり、冷え症等に効果あり。



井村屋株式会社 (津市)

「医療現場ニーズを反映した高齢者向け介護・栄養食品の開発」 (商品名：高カロリー豆腐)

・低栄養傾向になりやすい高齢者が気軽にカロリーを摂取しやすくなる食品の開発をめざして、医療機関と連携した食品の臨床試験を実施。



万協製薬株式会社 (多気町)

「熊野産新姫等を活用したボディジェルの開発」 (商品名：まごころボディジェル姫)

・熊野市産新姫(にいひめ)オイルや伊勢茶エキスを使用し、高校生がアイデアを持ち寄り、商品化したボディジェル。



御木本製薬株式会社 (伊勢市)

「三重産海藻(スサビノリ、イシゲ)、真珠エキス等を活用したボディジェルの開発」 (商品名：パールプリンセス)

・鳥羽の海洋資源を活用し、旅館の女将や海女の声を取り入れて製品化した「ボディスキンケアジェル」を開発。